

蛇を拾った元整備兵

trois

ある日蛇の名前を持つ人形を拾いました。

お世話しますか？

目次

出会い編

現状説明 1

彼女と異変 6

様々な異変と目覚め 11

彼女達は戦場へ 16

帰還 22

悪夢を抱いた晩餐 28

存在しない者達 35

因縁と腐れ縁 41

就職編

制限解除 47

t r a i t o r

53

お人好し

59

再会

65

出会い編

現状説明

初めての日記形式。

誤字脱字等あったら報告お願いします。

感想やアドバイスメウエルカムです！

D月O日晴れ？

手術が終わったのでリハビリついでに今日から日記を書く事にした。

まだ手が馴染んでいないので汚い字だが、リハビリで良くなるだろう。

さすがに多少の違和感が残るが義手の具合は良い。

さすがペルシカさん。天才は伊達ではないという事か。

一応義手になった経緯を書いておこうと思う。

はつきり言って不発弾の爆発に巻き込まれた。

まあ近くに居た人形を庇ったんだけど、その代償がこのザマだ。

まあその人形を守れたから良い。

その人形の子が衛生兵を呼んでくれたからこうして日記を書ける。感謝しきれないな。

何て言ったかな・・・あの人形の名前は・・・

爆発のショックのせいで、意識があやふやだったから思い出せない。

確かうろ・・・おう・・・やっぱり思い出せない。

いつか思い出す時が来るのか？

けど聞いた話によるとその子は回収されていないらしい。

大丈夫だろうか？

まあ今日はこれくらいで終わりにしようと思う。

—————

1月1日 曇り（多分

今日からリハビリが始まった。

やっぱり辛い。手足を自分の意思で動かすには時間がかかるとは言っていたが、結構精神的にくる物がある。

歩く事さえ少しぎこちない。重い物を持てない。五体満足がどれだけ有り難いことか身をもって知った。

そういえば今日、人形とあった。

この16Labで作られたらしい。

名前はAR-15、アサルトライフルでピンク色をした髪を持つ子だ。

少し悲観的に物事を捉えているような気がする。

話しているうちに、他にもM4と呼ばれている子やSOPと呼ばれる子にM16という人形達で部隊を組んでいる事を知った。

なんだろう、彼女は普通の人形と違う気がする。

そういえばトレードマークについて良いデザインだと誉めたら顔を真っ赤にしていた。

・・・何故顔を真っ赤にしていたのだろうか

||||||||||||||||||||

U月M日雨

1 週間ほど間が空いてしまった。

色々あったがリハビリの成果で腕は違和感が消えて、好きなように動かせるようになった。

足自体も小走りくらいはできるようになった。

ペルシカさんは「2ヶ月はかかる筈なのに・・・」と驚いていた。

「当然です。私は努力家ですから。」と言ったら明日辺りから付き添いアリで外出OKと言われた。

必ずAR15達の内一人を付き添いとして同行させる事と言われた。

何故AR15達となのかと聞いたら「あなた彼女らと仲良いでしょ。」と言われた。彼女らしくいしか話相手が居ないのは認める。

けどいつの間にそんな仲が良くなったのだろうか。

日常会話とアドバイス位しかしていない筈なのに

—————

P月Y日

一人の人形を見つけた

書き方についてのアドバイスなどお願いします

彼女と異変

ウロボロスの口調・・・書くの難しい

F月R日

また2日ほど間が空いてしまった。

色々あってごたついていたせいだ。

事の発端は、一人の人形を拾ったせいだ。

I・O・Pの人形ではなく鉄血の、それもハイエンドモデルだ。

AR15と一緒に施設の近くにある森に行ったら、ボロボロになった二つのビツトの横にこれまた傷だらけの状態で木に背を預けていた彼女を見つけたんだ。

見つけた時はびっくりしたさ

ただの散歩で森に行ったら人形が倒れていたから、AR15を呼ばずに背負って施設まで運んで

運んじまったんだ。

そのせいで施設は大騒ぎ

M4達は彼女を殺そうとするし、警備員を呼ばれるし、ペルシカさんにいたっては目をキラキラしていた。

とりあえずみんなに状況を説明して彼女はペルシカさんに預けた。

ペルシカさんは「彼女はI・O・P製の人形じゃないから時間がかかるね」と言っていた

大丈夫だろうか？

—————

O月N日

ペルシカさんが彼女を連れて研究室から出てきた。

彼女はウロボロスと名乗った。

何処かで見たような気がするが思い出せない。

AR小隊とはすぐに打ち解けていた。

ただSOP2にいじられていたが・・・なぜか俺に助けを求めてきた。

しょうがないからSOPに「ほどほどにしといたほうが良いよ。」と言ったら「ええー、じゃあお兄さんが遊んでくれるの?」と言われたのでウロボロスを生け贄に捧げてしまった。

許してくれウロボロス。君のことは忘れない。

—————

T月S日

腕の調子が良くない。

代理としてウロボロスに書いてもらっている。

意外とウロボロスは達筆だった。もうちょい汚い字かと思っていた。

『酷いぞ、お前』悪かった、許してくれ。

『昨日SOPに生け贄として捧げた件については?』

・・・本当に悪かった。

『嫌だ、許してやらん。』頼むよ、怒ってると綺麗な顔が台無しだぜ

『調子の良い奴め、まあ許してやろう』ああ、ありがとう。

ここから日記に戻ろう。

ペルシカさんいわく、腕の調子が悪いのは、完璧に神経が馴れていないかららしい。

自分の腕ではないのに自由に動く違和感が脳に負担をかけているとの事だ。こればかりは仕方ない。

『腕が動かないなら私が手助けしよう。』ありがとな、ウロボロス。

||||||||||||||||||||

〇月〇日

今日はこの私、ウロボロスが書こうと思う。

いつもならアイツが書く筈なのだが事情があつてな。

単刀直入に言おう。

アイツは今、昏睡状態にある。

ペルシカいわく、義手による脳への負担がかかりすぎた為らしい。

前々から腕の調子が悪いのは知っていたがここまで深刻とは知らなかった。

あのお人好しの事だ。無理して元気を取り繕うだろう。

これ以上悪化させない為にもどうにかしなければ・・・

M4達も心配していた。

特にAR 15が一番心配していた。

早く目覚めないだろうか

誤字報告、感想などお願いします

様々な異変と目覚め

1 話で AR-15 の髪を神と誤字っていた・・・

AR-15 は神だった？

いやまあ家の自慢のアタッカーですけど・・・

圧倒的語彙力不足

D 月 M 日

今日もアイツは目覚めなかった。

もう3週間も眠っている。

ペルシカも「私ができる事は全てやったから、後は彼次第。」と言っていた。
色々と異変が起きている。

最近夢を見るようになった。人形は夢を見ない筈だが・・・

M4達も同じような状態で困惑していた。

AR15はアイツが昏睡状態と聞いた時から自室に閉じ籠っている。

食事は取っているようだが心配だ。

||||||||||||||||||||||||||||||||

D月P日

最悪の目覚めだ。3週間も眠っていたらしい。

ウロボロスに泣きつかれた。心配させたな。

だが今はマシになった。

眠っている3週間の間に何かあったか聞けば、M4達が酷く心配していたこと。

特にAR15が一番心配していた事。部屋に閉じ籠っているらしい

シヨックが大きすぎたせいだろう。

会いに行こう。俺にはその責任がある。

||||||||||||||||||||||||||||||||

彼が倒れた。ペルシカさんは義手のせいと言っていた。

いつも一緒に居たのに何で気づけなかった。

私が一番気づけたかも知れないのに。

何で何で何で何で何で何で何で何で何で何で何で何で何で

何で何で何で何で

彼がこうなったのは、私のせいだ。

・ ・ ・ もう誰にも会いたくない。

ベッドに踞ったままずっと同じ事を考えている。

「？」

ドアをノックする音？また誰か来た。

またM4達だろう。今は会いたくない。

『大丈夫か？部屋から出てこないって聞いたけど』

この声は?!けどそんな筈ない!彼は眠っている筈!

確かめる為に意を決してドアを開ける。

そこには彼が居た。私のせいで昏睡した筈の彼が。

「やあ、心配させて悪かったな。・・・大丈夫か？」

心配そうにこちらを見つめる彼。

思わず彼に抱きついた。

「ちょ!？」彼は驚いているようだけど関係ない。

全身を使って彼を堪能する。

彼の体温、匂いを堪能する。

思った。彼が居れば私は何もいらぬ。彼の為に私は尽くそう。

彼に抱きついたまま時間は過ぎていった。

| | | | | | | | | | | | | | | |

D月Y日

やっちまった。M16に「昨日はお楽しみだったみたいだな」と言われた。ほつとけよ。

一つだけ言わせてもらおう。

やってないからな！

ただARー15を寝かしつけただけで、寝かしつけたら眠くなってARー15の部屋で眠ってしまっただけで。

朝になってもARー15が「夢じゃなかった」と言ってまた泣いて抱きついてきた。何時になっても俺たちが部屋から出てこないのを心配してウロボロスがARー15の部屋に来て・・・あれだ。

修羅場ってやつを身をもって知ったよ。

二人のアフターケアも忘れずにだ。

ARー15と誓約を結びたい今日この頃。

ARー15は尽くすタイプだと思う。

彼女達は戦場へ

AR-15と誓約したい今日この頃。指輪の為にダイヤ求める鬼と化してます。
あゝレベリングが苦行なんじゃ

N月O日

唐突だが気づいてしまった事がある。

ウロボロスにも！ AR-15にも！ M4達も俺の名前を知らない事に！
ウロボロスは「おぬし」って呼ぶし。

AR-15は「あなた」って呼ぶし・・・AR-15に「あなた」って言われると犯罪
臭がするんだが・・・

そんな事は置いといて
閑話休題

俺の名前だが『レスター』と言う。

まあ部隊でのコードネームが俺の名前な訳だが。

作戦行動中の部隊の後方支援が主な任務だった。

今はこんなナリだけだな。

部隊は解体されて、俺はフリーな訳だ。

そういえばM4達がそわそわしていた。

何故だろうか？

――――――――――

T月F日

朝起きたらベッドにウロボロスとAR―15・・・「コルトと呼んで」と言われたの
でこれからはコルトと呼ぶ。

二人がベッドに潜り込んだ。

言わせてもらおう。

M16！てめえ覚えてろよ!？

何が3Pだ！やったどころか付き合ってすらいねえよ！

二人にはしっかりお説教（肉体言語）をしておいた。

ペルシカさんにまで「大変だね。精力剤でもあげようか？」と言われた。

ペルシカさんまでそっち側とは・・・どうしてこうなった。

まあこんな日常がいつまでも続けば良いと思った。

—————

〇月U日

今日はM4達とウロボロスが居ない。

ペルシカさんは「少し野暮用に付き合ってもらってる。」と言っていたが何をさせているのか全く教えてくれなかった。

アイツらの事だ。絶対に帰ってくるだろう。

帰ってきたらハビリの成果を見せてやろう。

俺が作った料理をもって。

ちなみにマフィンとペペロンチーノをペルシカさん達に食べてもらったところ、

好評だった。

富裕層のレストランにも負けない味だそうだ。

作った人としては嬉しい。

早く帰って来ないだろうか。

――――――――――

二日目

今日もアイツらは帰って来なかった。

全く何処まで行かせたのやら。

だが無線で全員の声は聞いた。皆、元気そうだった。

特にコルトは食事はしっかり取っているか？とか腕の調子は？等々色々聞
いてきた。

大丈夫と言ったら「早く帰りたいです」と弱気になった。

励ましたりしていたらウロボロスに変わってきた。

ウロボロスまでコルトと同じようなことを聞いてきた。

「お前らは俺の母ちゃんか」と言ったら、あたふたしているのが伝わってきた。

M16はいつも通りで、SOPⅡからは「お兄ちゃん」と呼ばれた。何故・・・
「お兄ちゃん」・・・

後3日ほどで戻るらしい。無事を祈って通信を切った。

||||||||||||||||||||

何故帰って来ない？

感想、アドバイスなどお願いします。

帰還

K月J日

今日、アイツらが帰ってきた。

最悪に近い形で。

みんな傷だらけだったが、コルトとウロボロスが一番酷い。

コルトは右腕が千切れて配線が見え隠れしている。意識もなくM16が背負って来た。

ウロボロスは2つあるビットがボロボロで、傷だらけ。

意識はあるが少し錯乱しているようだった。

ああ・・・クソ・・・

どうしてこんな事になったんだ？

||||||||||||||||||||

N月W日

まだコルトは目覚めない。

ウロボロスは部屋から出てこない。何かショックがあったらしい。

俺が昏睡していた時のアイツらの気持ちが悪くわかる。

コルトは目覚めるのか？ウロボロスは何があった？心配で憂鬱だ。

ああ・・・苦しい

M16が飲み誘ってくれたが・・・断った。案外精神的に來ているらしい。

アイツらは意外に・・・

ひとまずはウロボロスに会いに行こう。

カウンセラーって柄じゃないがやらないよりマシだろう。

—————

ウロボロス、少し話したい事があるんだが・・・入るぞ？

なんだ、泣いてたのか。お前。

何かあったのか？よかったら聞くよ。・・・うん？

代理人と話したのか。そこで「死に損ない」と言われて、鉄血に居場所がないことがわかったと。

なあウロボロスよ。一つ聞いて良いか？

お前はどっちの所属だ？いや、どっちに居たい？

鉄血か？16Labか？

お前は鉄血所属のハイエンドモデルか？

それとも、俺たちの仲間か？

俺たちはお前を仲間だと思っている。

お前はなんだかんだ言って俺を支えてくれる。

それがどれだけありがたい事か。

良いか。もし奴ら鉄血がお前とアイツらを傷つけるなら・・・俺はなんだってしようじゃないか。

ん？「何故そこまでしてくれるのか？」だって？

そりゃお前俺が『お人好し』だからさ。

まあ普通はここまでしないさ。それだけお前を信頼してるんだ。
だから俺は、俺を助けてくれたお前を守るよ。
人間でもやりようでどうにでもできるからな。
一つ言わせてもらおう。ウロボロス良く覚えとけ。

あまり、人間の本気を舐めるなよ

|||||

W月J日

ウロボロスが部屋から出てきた。

悩みが吹っ切れたみたいで良かった。

時々目のハイライトが滲み出すことはあるが、大丈夫だろう。

何故か前よりべったりくっついて来るようになった。

髪型も変えたり、女の子っぽい仕草をするようになった。思わずドキッとすることがある。

ただ、M4達と話したりした後「浮気者め」っていうのはやめてくれねーかな？
結構心に刺さる。

けどコルトは眠ったままだ。目覚めない。

俺の日常には二人が必要なんだ。

だからさ・・・早く起きろよ・・・

||||||||||||||||||||

起きるの
・
・
・
遅いんだよ
・
・
・

悪夢を抱いた晩餐

低体温症まであと2日・・・皆さまいかがお過ごしでしょうか？

私は低体温症に憂鬱になりながら準備しています。

未だに私の主力の作戦能力は12000なので・・・ムリゲ臭がするんですよ・・・

ジュピターなんか滅べばいい・・・

それと例のドイツの傑作モコモコライフルが来てくれない・・・シカゴライター？3体連チャンで来たよ・・・

早くライフル娘ほすい・・・

暗い・・・暗いナニかに落ちていく。

体は動かない。感覚もない。

いきなり視界が晴れる。

気づくと廃墟に居た。

辺りを見渡していると、自分の体が自分の物ではないように・・・操られているように勝手に動く。

廃墟の中を歩いていく。

まるで、『俺』の意思など関係ないとも言うように。
誰か居た。

場所が移り変わって、外に居た。

あのピンクの髪は・・・コルトだ。横にはウロボロスも居る。

「……………、……………」。

「……………、……………」。

コルトとウロボロスが笑顔で何か言っている。だが聞こえない。

「ごめんなさい。レスターさん。後はお願いしますね。」

「そういう事だ。すまない、おぬしは生きてくれ。」

二人が俺に背を向けてビルに歩いていく。何故か止めなくてはいけないと思っ

た。

二人に向けて手を伸ばす。だがその手は二人に届かない。
二人はビルの中へ消え・・・その時、意識は暗転した。

――――――――――

思わず飛び起きた。

「コルト！ウロボロス！ってここは・・・」

ここは廃墟ではなく、16 Labの自室のベッドの上だった。
どうやら夢だったらしい。

「ああ、クソ」

縁起の悪い夢だった。

体中が寝汗で気持ち悪かったのでシャワーを浴びようとベッドから起きようとす
ると・・・

なんということでしょう。

「ふああ、おはよう、主様。」

「ううん、おはようございます。レスターさん」

あくびをして起きたウロボロスと目をこすっているコルトを見て俺がした行動は・・・

「夢で良かった」

まさかの現実逃避だった。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
84

今日はコルトが目覚めたお祝いで夕食をご馳走した。

え？朝の一件？ナニソレ？ベッドの中にコルトとウロボロスなんか居なかった・・・いいね？

て言うかコルトさん？あなたまだ病み上がりなんだから動いちゃダメじゃないか。

閑話休題、とりあえずさっき書いた通り夕食を16Labの研究者の人達とM4達にご馳走した。

まあ、大量に準備しなければいけなかったから、結構時間がかかった。

メニューはペロンチーノとナポリタン、チャーハン、七面鳥に小籠包など色々作りすぎた。

まあそのせいで作ってる時、また腕が痙攣したが、二人に手伝ってもらった。だがまだ米が作られているとは思わなかった。

まあまあ金がかかったが手に入った。

意外な事に人形は結構食べる。

M4はそうでもないが他のM16とSOPⅡにコルト、ウロボロスが凄く食べて

た。

ペルシカさんやM4達に、ウロボロスからは好評だった。

しかし、先の書いた通り結構食べられた。

そのおかげで俺の食う分は無かった。

ハハハ作った身からすれば嬉しいが、食えなかったのは残念だ。

ああ空にはこんなに星が輝いているのに・・・不幸だ。

||||||||||||||||

なんかデジャブ

感想やアドバイスなどお願いします。

存在しない者達

K月a日

疲れた

――――――――――

昨日の日記から続けるなら「おはよう」と続けるべきだろうか？

まあいいや。

さて、昨日少ししか書かなかったのは疲れていた為だ。

また散策中に見覚えのある人形を拾ったもんだから・・・

いつもの通り研究所の周りを散歩していて、少しだけ奥に行こうと思って行った
ら。

木の根元に空いた空洞に灰色っぽいボサボサの長い髪の毛のちっこい人形が寝てた。
銃を枕代わりにして。

「何でこいつここに居るんだ？」と思ったら、後ろから取り押さえられそうになっ

て、逆に押さえつけたりしたら、寝坊助も起きたので事情とか色々聞いて、研究所に案内した。

彼女らの紹介をしよう。

彼女らは404not found小隊

いわば人形の傭兵のような者達だ。

木の根元で寝てたのはG11といわれるぐーたら娘。

だがやる時はやる子だ・・・多分。

だいたいサボりたい。けどサボるために本気を出す。

そんな性格だ。

それと彼女らのリーダー的存在のUMP45。

どことなく小悪魔っぽい？何故かって？

色々こきつかわれたりしたんだよ。

昔の軍属だった頃。

そして45の妹のUMP9。

明るく、小隊のムードメーカー的役回りだ。

そして俺をお兄ちゃんと呼ぶ。

茶髪でツインテールで結構見た目は幼く見えるか？

そして自称完璧なHK416。またの名をHKM4と言う。まあそう呼ぶと怒り狂うが。

何故かM4やM16を敵視？している。

まあこの四人の為に俺は銃を突きつけられた訳だが、何故こんな所に居るのか。それだけが疑問だったので、研究所に招いて、話を聞こうと思った訳だ。

まあウロボロスとコルトの目のミッドナが職務放棄してたが・・・

明日・・・生きてツかな？

||||||||||||||||||||

16Labの中で私、UMP45はここに居る経緯を思い出していた。

あれは任務が終了して帰還しようとするところだった。

鉄血に捕捉されないように森に入って迂回していると、いつの間にかG11が消えていった。

置いていく訳にもいかず、私たちは一人はぐれたG11を探して森を散策していた。

散策していると、G11に手を伸ばしている一人の男を見つけた。

直ちにハンドサインでHK416に男の身柄を確保するように合図を送った。H

K416は意味を理解した後、男の後ろから忍び寄り

取り押さえたその時！男は逆にHK416を地面に押さえつけた。

「なっ！何でッ！私は完璧な筈なのに！」

あり得ない。人形と人間ではそもそもパワーが違う。それなのに逆に押さえつけた。

HK416は錯乱し、押さえつけられたままだ。

だが、男はあっさりHK416を解放すると言った。

「まったく、昔から言ってるだろう？お前はCCCや格闘術が苦手だって。型に嵌まりすぎなんだって。」

「と言うか一言かけてから取り押さえるなりしろよ。」

「俺じゃなかったら怪我してるぜ？」

男はHK416を解放し、こちらに振り向いた。

私たちは驚愕した。

何故なら……

ヘリアンから死んだと告げられた戦友と言える彼だったから。

間違いない。生きてた！生きててくれた！

死ぬ筈がない！そう思っていた！

やっぱり死んだわけではないじゃない。

良かった。生きててくれて。

「お前達、こんなところで何してたんだ？」

「まあ、立ち話つてのもあれだから、研究所まで案内するよ。」

「ん？付いてこないのか？あ？きちんと生きているのか？って……

そりゃあ生きてるさ。そうじゃなけりゃ、俺はここに居ないからな。」

因縁と腐れ縁

遅くなりましたあ！

エスコン7と5とかAPEXとか色々やってて時間が無かったんです！

お願いします！

許してください！

（レスターが）何でもしますから！

404小隊を16Labの研究所に案内したら問題が発生したんだ・・・

研究所の中に入るとコルトとウロボロス、M16が出迎えてくれたのだが、404のHK416がM16に銃を向け、UMP45と9がウロボロスに銃を向けた。ウロボロスはビットを展開して臨戦態勢をとったよコルトは訳がわからないように、おろおろしていた。G11？研究所に入った途端、ロビーのソファに「ソファ

だ！」と言って一直線で、夢の世界に旅立ってたよ。

ウロボロスとUMP姉妹は睨みあっていて何時UMP姉妹が発砲するかわからなかった。ウロボロスは鉄血の人形で、AR小隊しか味方と認識していないから・・・だっけ？

「姉さん！こいつは！」

「ええ！何故あなたがここに居るの！」

「貴様ら！あの時は良くもやってくれたな！」

（何？君たち知り合いですか？）

ウロボロスの一言でなんとなくわかった気がする。けど一応。

「あのーお二人さん？何故ウロボロスに銃を向けるので？」

（俺の予想がはずれてなければ、恐らく）

「こいつは鉄血のハイエンドモデルよ！それに、あの時仕留めようとしたら逃げられて、ボロボロの状態でロストしたの。」

（やっぱり、ウロボロスがボロボロだったのは404と交戦したからか。）

「質問に答えたからこっちの質問にも答えてもらって良いかな？」

「どうぞどうぞ、何でも聞いてくださいな」

質問に答えてくれたのなら、こちらでも質問に答える。それが俺の流儀だからな
「何故、鉄血であるコイツを匿うの？」

まあ確かに、普通じゃ匿うどころかグリフィンにつき出すだろうからな。理由？
それは簡単さ

「わかってるだろ？ 45、俺はお人好しだからな。」

45はため息をついて銃を下ろして・・・呆れ返っていたんだろうな。

9はと言うと笑って

「あははははは！ やっぱり、どれだけ月日が経ってもそのお人好しは変わらないんだね」だとさ

45は「はあ、いつか刺されるかもよ」ってさ。

刺されるってどういうことだ？

あ？ HK416はどうしたのかって？

・・・「M16と模擬戦やれば？」って言ったら、収まった。結果は0勝5敗・・・まさか銃で牽制してからCCC使うとは思ってなかったよ。

一体どこで覚えたんだろうな？ M16の奴

よほど悔しかったのか、「CCCを教えなさい！」って言ってきた

義手と義足だから激しい運動はやりたくないけど・・・しゃーないか・・・

最近後ろを振り返ると大抵コルトかウロボロスが居るんだよな。

二人のおかげでこうして動けるようになった事だし、お礼でもするか。

二人にお礼するなら何が良いかな？

M4

||||||||||||||||||||

何故？彼が彼女達と一緒に居るの？

どうして私は勝てないの？

何で？私は完璧な筈なのに。

どうして私じゃなくてあいつらのの？

そういえば、気づいたら家のMG5がLV90なりかけだったんですね。
拡大用のコアが15個しかなくて・・・

ただいま第二部隊のレベリングでコツコツ集めてるけど・・・辛い
ぜひ！感想やアドバイスなどお願いします。

就職編

制限解除

お気に入り数が100を超えました！

この作品を気に入ってくれた方々、本当にありがとうございます！

感想など励みになりますので、是非ともこれからも！

『蛇を拾った元整備兵』をお願いします！

M月I日

今日は何もない1日だった。

そういえば、この日記を404小隊とコルト達は読んだらしい。

誰から聞いたって？コルトから聞いた。

コルトが「色々心配させてしまって・・・ごめんなさい。」と言われて発覚した。

最近45がニヤニヤしてると思ったら・・・そういうことだったらしい。

しつかりドアのロックはしていた筈なのに・・・。

まああいつは電子戦タイプだからこれぐらいの電子ロックは解除できるんだろうし・・・

どっかい保管場所はないだろうか

—————

M月J日

今日、ペルシカさんに呼び出された。

俺の次の雇い主はグリフィン&クルーガーらしい。

前々からペルシカさんに相談していたのだが、ペルシカさんがG&Kのトップであるクルーガーにちょっと口を滑らせたらしく、ちょうど新しい指揮官を配属させようとしていた地区があるので、俺を雇うらしい。

何故俺を雇うのか・・・ペルシカさんが言うには、「元軍所属だからじゃないかな？」と・・・要するに即戦力が欲しいということだ。

3日後にG&K社の本部に行くことになった。

それに合わせて、俺の義肢をチューンアップするらしい。

G&Kに行く事はまだあいづらには言っていない。

||||||||||||||||||||

M月K日

G&Kに行くまで後2日。

今日も言い出せなかった。

さっさと言った方が良いのはわかっている。

だが切り出しにくい。

どうするべきか・・・

義肢のチューンアップは結構早く終わった。いつものメンテナンスとあんまり変わりなかった。

前よりパワーアシストが強くなったぐらいだ。

そういえばHK416が今日、M16からダウンをとった。

教えたCCCが役立っているようで、何よりだ。

まあすぐ投げられていたが・・・

||||||||||||||||||||

M月L日

とうとう出発が明日に迫ってきた。

言い出そうとしたが・・・駄目だった。

このヘタレな部分は嫌になる。さっさと言えば良い物を・・・

どうしよう・・・

||||||||||||||||||||

いつも通り私たち二人は、レスターの部屋に忍び込もうとした。

だが同じ事を考えていたのか、UMP45も忍び込もうとしていたらしく行動を共にしていた。

UMP45がロックを解除しようとしていたが、「電子ロックのキーはペルシカ

から貰った物を使えば問題ない。」とウロボロスがポケットからキーカードを取り出し、扉の横にあるスリットに差し込み、コルトに目配せをしてロックを解除、扉をそっと開ければベッドにあやつが居る・・・筈だった。

「え？」

「は？」

「な!？」

部屋はあやつの荷物が全て消え、ベッドの上のある布団がきれいに畳まれていた。今は06:20。いつもなら寝ている筈なのに。

部屋に入ると、机の上に一枚の手紙があった。

『すまない』

この手紙で私たちは理解した。

彼はここから去ったと言うことを。

感想やアドバイスなどお願いします。

t r a i t o r

リアルの方がごたつき、スマホがご臨終なされたので遅くなりました。

D 月 M 日

16Labを出て4時間ほど経った。結局夜逃げみたいな事になってしまった。最低だな・・・一言言ってからにすればよかったのに・・・

決断できずに後になって後悔するのは悪い癖だ。

ウロボロスとコルト、M4達は大丈夫だろうか。

もっと話せば良かった。もっと触れあえば良かった。

||||||||||||||||||||

・ ・

・ ・ ・ ・ ・

||||||||||||||||||||

F月O日

16Labを出てから1ヶ月が過ぎた。

俺は今、G&Kの指揮官としてSO9地区に配属された。

執務は補佐のカリーナが教えてくれたためどうにかなっている。

(カリーナははっきり言って守銭奴である。)

今の所は順調ではぐれた人形達を保護し戦力として編成している。

先日は鉄血のハイエンドモデルのスケアクロウを撃破し、戦果を上げた。

基地には16人の人形が居るが、まあ彼女らについては後で書こう。

そんなこんなで色々順調・・・と言えば順調だが・・・16Labを出てから味

覚が失くなった。何を食べても無味で美味しくない。

これでは自分で料理することさえ難しい。

それ以前に執務が忙しくてそんな暇はないが・・・

それと明日は上官が視察に来る。しつかりしなくては・・・

F月P日

今日は最悪の日だ！クソツタレ！

あの無能な上官野郎、家の人形達をガラクタ呼ばわりしやがった！

ガラクタ呼ばわりされてどう思うか自分で考えないのかよ！

『人形は道具だ。人と同じく扱うなど・・・無能め』なんて言ってきやがった！

俺は何だって言われても良いが、

人形は人と同じだ！俺たちと一緒に考える頭がある！

それぞれが違う自意識を持つ！

趣味や好物だってそれぞれ違う。

裏金やコネで指揮官やってる無能が!!

てめえらが仕事しねえからこっちが尻拭いてやってるのわかってねえのか!?
 しかも模擬戦で相手してやると来た!

上等だ!あのデブ野郎め!今に見てやがれ!

――――

彼が居なくなつてから彼女達は混乱の極みに陥っていた。

M16はコップに何回も口をつけ、中身が空のことを思いだし、
 M4はM16に
 付き合わされバカスカ飲んで酔っぱらってしまった。

AR15とウロボロスはまた部屋から出てこなくなり404小隊はLabから出
 ていった。

そんななかでコーヒー片手に私は思案していた。

(適当な理由つけて彼の基地に配属させればどうにかなるかしら?)

正直言ってここまで影響が出るとは思っていなかった。

（彼が安定剤の役割を持っていたということなんだろうね）
ため息つきつつコーヒーを飲み干す。

（いい加減天然物のコーヒーを飲みたいね）
そんな事を考えていた。

感想やアドバイスをネタの提供などお願いします！

お人好し

AA 12が来た。

育成してスキルM a xにしたけど・・・本当にかわいい！

お肌を気にするあたり乙女なんやなあって。

AA 12と誓約できるまで好感度14・・・頑張ろ

B月Ω日

今日からあやつを真似て日記を書くことにした。

なにやらコルトの奴も日記を書き始めたようだが、まあ考えることは同じ事と言うことなのだろうな。

あやつが居なくなってから結構経った。

ようやく私たちは立て直した・・・と言っているものか疑問だが。

M 16とコルトと私の三人であやつが何処に行ったのか聞いたらすんなり教えて

くれたおかげでな。

あやつ、まさか軍属に逆戻りしたのかと思えばPMCのG&Kに指揮官として就職したらしい。

ペルシカはG&Kに行ったとしか言わなかったが・・・

コルトが「G&Kに行かせてください！」と言っていたので我もそう言ったが・・・どうやら駄目そうだ。

そのまま、ペルシカにまたお使いを頼まれた。

今回もAR小隊全員で行くらしい。もちろん我も加えてだが。

今回は無事に終わるといいが・・・

――――

――――

D月V日

良い感じにスッキリした。

あの糞野郎顔真っ赤になってやがった。

何をしたのかって言うと、模擬戦部隊に俺も居た。んでトラップを仕掛けまくって、敵部隊を全て死亡判定出さずに捕まえて判定勝ち。

どう言うわけか、あの糞野郎は指揮官としての地位を失ったらしい。

ヘリアンさんに聞いたら、自分の指揮下の人形に対して暴力や、執務を代わりにやらせたり、損傷しても修復させなかったりしていたらしい。

人形を物としか見ていなかったのだろう。

人形だってモチベーションとかあるし、心もある。

それぞれ違う自我を持つ。

これは全部アイツらから学んだ事だ。

今日は気分が良い。月でも見ながら酒を飲むかな。

|||||

この夢はなんなんだ？

暗く暗いナニカに落ちていく。

見覚えのある感覚だと思った・・・だが思い出せない。

気づくと目の前に巨大なバイクがあった。

バイクの回りをぐるりと一回回って全体を見ると気づいたことがあった。
バイクに見覚えのある銃が立て掛けてある。

その持ち主は酒飲みで妹思いの良い奴で・・・

何故アイツの銃がここにある？

アイツは何処に行ったんだ？

疑問が積み重なる中で、誰かの気配を感じた。

『何故ここに居る？』

『何で今さら現れたんだ？』

そこに居たのは、黒髪ロングヘアを三つ編みにしてまとめて、正面から見て前髪左側の一部と左側横髪の一部を黄色に染めている筈なのに真っ白な髪のM16がそこに居た。

『ああこの髪か？．．．ちょっと傘をさしてこうなったんだ。知ってるだろ？』

M16は酒瓶を煽りながらそう言った。

『なあ何で今なんだ？』

質問が理解出来ない。

何を言ってるんだ？

『お前のせいで二人が死んだぞ。』

『なあ、お前は何で見殺しにしたんだ？』

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
84

新イベント発表来ましたね・・・

ジュピターがまた来るらしいですよ。

O I G A M I で吹き飛ばせば良いのに。

壁役のPP12000と64式消音・・・☆5に入れ換えるべきだろうか？

再会

深層映写が5月17日から始まる。

ようやく第一部隊が27000越えたけど、まだ懸念が・・・

第二小隊もレベリングしないと・・・

UMP40と外骨格は3つゲットしないと。

張り切ってまいりましょー!!

J月V日曇り

昨日は酒飲んでぐっすり眠れると思ったんだが・・・

気づくと椅子に座って居た。汗でびっしょりで、体全体が震えていた。

しかも日記には意味不明な文章が書き込まれていたし・・・俺の字なのは間違いないが、夢遊病の気でもあるのだろうか。

ふとアイツらの事が頭をよぎった。元気なら良いんだが。何も言わずに出てきてしまったから心配してるだろうな。

特にコルトとウロボロス、アイツら二人が一番心配だ。

コルトはしっかりM4をサポートしてやれてるかな。

ウロボロスも元気でやっているかな。

日記の『夢』……一体何なんだ。

[illegible]

いつも通りの朝、いつも通り起きて、いつもの通りに書類をチェックし、副官の彼女に資材の量を確認してきてもらう。

彼女の名前は
『AA
12
』

I・O・Pに初めて製造依頼をした時に来たシヨットガンだ。

あの時はカリーナと二人で「「え？」」って困惑したなあ。

製造機械のデータがバグって、生まれた子らしい。

目の隈と気怠げな表情が特徴的な人形で、苛立ちやすい性格らしく、ストレスが溜まるとすぐにキャンディーを舐める癖がある。

そのせいで、俺は飴をよく用意するようになった。

最近だと今日なめる味がだいたいわかるようになった。

趣味は『カリンの相談オフィス』などの深夜ラジオ放送を聞くこと。

目の下の隈はそのせいらしい。

今日も基地周辺の見回りを頼もうとしたら、カリーナから通信が入ったと言われた。

通信を壁にあるスクリーンに繋げて、制服をしっかりと着て、準備完了。

・・・あれ？

『やあグリフィンのしきか・・・』

画面に映ったのは猫耳着けたしわくちやの白衣を着た隈がひどい女性だった。

「相変わらず部屋着にそのまま白衣着てるんですね。ペルシカさん。」

思わず微笑みそう言々と彼女は困惑しながら確認をとってきた。

『えっと……S09地区の指揮官は君だったのか。』

『結構真面目にやってるみたいで安心したよ。なんだかんだ言っ
て君の作る料理とコーヒーは気に入っていたからね。』

ペルシカさんはニヤリとしてそう言った。

建物の中に人影が2つ。

片方は銃を。もう片方は巨大な剣を持っていた。

「追い詰めたぜ！ M4A1！ さっさと観念しやがれ！」

M4に剣を突き付ける人形、鉄血のハイエンドモデルだろう。

「ここまで逃がしてくれた皆のために、こんなところで……」

『処刑人、何を遊んでいるのです？』

処刑人と呼ばれる彼女は舌打ちするとM4に剣を向けたまま無線を返した。

「こいつらには散々こけにされたんだ。これぐらい良いだろう?。」

処刑人はイライラした口調で言う。と剣を両手で持ちM4を切ろうとする。

「じゃあな、M4A1。ここで死ね!」

斬りかかってくる恐怖で私は目をつむる。

無念さと恐怖で一杯になる。

だけど、何時まで経ってもその剣が私を切り裂く事はなかった。

目を開いて見ると呆然とした処刑人がそこに立っていた。

「嘘だろ。」

まるで信じられない物を見たように、絞り出すように処刑人は声を出した。

「何で・・・」

後ろにあった裏口に一人の男が居た。

処刑人の無線機から代理人の声が出た。

『や・は・り・、生・き・て・い・ま・し・た・か・。お・久・し・ぶ・り・で・す・ね・。レ・ス・タ・ー・』

その名前はLabに居た人の物だ。だが彼は突然居なくなった。

「よう処刑人、代理人も元気そう。で何よりだ。ところで」

「助けに来たぞ。

M4、もう大丈夫だ。」

「後は任せろ。俺達がどうにかする。」

彼はそう言うのと処刑人に向かっていった。

その後の事はよく覚えていない。

U M P 姉妹はやっぱりかわいいなあって。

9 の無邪気な声とか45とかのボイスとかかわいいですよねえ。

U M P 姉妹に病むまで愛されたいなあ。

蛇を拾った元整備兵

著者 trois

発行日 2019 年 8 月 25 日

ハーメルン -SS・小説投稿サイト-
<https://syosetu.org/novel/178533/>

本書の内容を無許可で転載・複写・複製することは、禁じられております。
